

平成 24 年度  
国土数值情報（定期旅客航路）作成業務  
報告書

## 1. 業務目的

### 1.1 業務目的

離島・半島等の地域において、定期旅客航路は生活の利便性の確保、交流人口の増加等において重要な交通手段である。しかし、その航路及び起終点の位置情報、運行情報等を含めたデータ整備は十分にされていない状況にある。定期旅客航路に関する情報を GIS データとして整備することで振興施策の検討等が可能になる。

そこで、本業務では、定期旅客航路に関する情報を国土数値情報（定期旅客航路）として整備する。

### 1.2 業務内容

本業務の実施内容を以下に記述する。

#### 1.2.1 業務実施計画の作成

業務の実施にあたっての作業内容や実施作業方法、作業体制、及び使用する機材や資料等を定めた作業計画を作成する。

#### 1.2.2 作業の準備

作業計画に基づき、必要な機材や資料を準備する。また作業体制を整え、作業内容及び作業実施方法の周知徹底を行う。

#### 1.2.3 国土数値情報（定期旅客航路）の作成

資料「国土数値情報（定期旅客航路）作業手順書」に従って、定期旅客航路データの作成を行う。

#### 1.2.4 品質評価

作成した定期旅客航路データについて、データ品質要素の「完全性」「論理一貫性」「位置正確度」「主題正確度」について品質検査と結果の評価を行う。

#### 1.2.4 メタデータの作成

国土数値情報（定期旅客航路）のメタデータを作成する。

#### 1.2.5 報告書等の作成

業務の作業実施計画、実施内容、各作業工程で準備し使用した資料の情報、協議等に

よって変更したデータ作成作業手順、作業を実施した上で明らかになった課題等を取りまとめた業務報告書を作成する。

## 2. 業務実施計画の作成

業務の実施にあたっての作業内容や作業実施方法、作業体制、及び使用する機材や資料等を定めた作業計画を作成した。

## 3. 作業の準備

作業計画に基づき、必要な機材や資料を準備した。また作業体制を整え、作業内容及び作業実施方法の周知徹底を行った。

### 3.1 機材（ソフトウェア）

本業務で使用した主な機材（ソフトウェア）を、下記に以下の通りである。

- ・ ESRI ArcGIS Desktop
- ・ Microsoft Word/Excel
- ・ QGIS

### 3.2 使用した資料

本業務で使用した主な資料は、以下の通りである。

- ・ 国土数値情報（定期旅客航路）作業手順書
- ・ 国土数値情報（定期旅客航路）製品仕様書
- ・ 数値地図 25000（地図画像）
- ・ 旅客（定期・不定期）航路事業現況調査(平成 24 年 4 月 1 日)
- ・ 離島統計年報（2010 年版）
- ・ フェリー・旅客船ガイド（2012 年 春季号 日刊海事通信社）
- ・ 旅客定期航路事業者等の HP 情報
- ・ 各種市販の地図（地図検索サイト含む）